

G7 広島サミット開幕

被爆地・広島市で開かれたG7カ国首脳会議(G7広島サミット)が21日、閉幕しました。20日に発表された宣言声明(コマツ声明)を踏まえ、岸田文雄首相が韓国国賓を行いました。最終日はウクライナのゼレンスキーや統領も参加。岸田首相やバイデン米大統領の会見

談じ、G7の「結束」を演出しました。

一方、非政府組織(NGO)などで構成される市民社会の枠組み「G7」や被爆者

らは同日の記者会見で失望を表明。「核抑止」に繋がれるG7の選択や、世界の分断に対する憂慮として、G7の存

在自体が問われました。↓関連②③面

原爆碑前で核抑止論

「広島ビジョン」自賛 岸田首相会見

岸田文雄首相は21日、主導権を握るG7カ国首脳会議(G7広島サミット)開幕に伴い、止むを得ぬ形で「正統化」

し、「G7」を「核廃絶に焦点をあてた歴史的文書だ」とねじまけて自賛しました。

18日の日米首脳会談では核抑止の強化を改めて再確認した」と主張。人間を破壊していく核兵器を廃絶する、そのシンボルである原爆ドームと原爆碑の前で、核の使用を前提とする核抑止を盛り込む「広島ビジョン」を誇示するところが、被爆者や原爆犠牲者を意識する余韻となっていました。

「日本政府の核抑止依存の姿勢は、被爆地広島が願う核廃絶への思いとは相違ない」との如きが、



被爆地・広島市で開かれたG7カ国首脳会議(G7広島サミット)が21日、閉幕しました。20日に発表された宣言声明(コマツ声明)を踏まえ、岸田文雄首相が韓国国賓を行いました。最終日はウクライナのゼレンスキーや統領も参加。岸田首相やバイデン米大統領の会見

記者からの質問で、首相は「そもそも核保有」「厳しい安全保障環境」を口実に、「核兵器のない世界」を理想に現実を近づけていく」と述べ、核廃絶実現を先送りする姿勢を改めて示しました。

首相は来日したウクライナのゼレンスキーや統領がG7サミットの議論に参加したことについて、「法の支配に基づく国際秩序を守るとのメッセージをより力強く国際社会に発信できました」と述べました。

米国製F16戦闘機ウクライナ供与へ

主要7カ国首脳会議(G7広島サミット)に参加し

ているバイデン米大統領とウクライナのゼレンスキードナルド大統領は21日、広島市内で会談し、バイデン氏は欧洲の同盟国による米国製F16戦闘機のウクライナ供与を容認する方針を直接伝えました。

米国と英國のペナン首相は記者会見で、ウクライナ軍へのF16戦闘機の訓練を今夏に始めることを明らかにしました。欧米各国はウクライナへの軍事支援を強化していますが、戦闘機の供与

として、回顧に対して外交、財政、人道、軍事支援が必要な限り提供する」と